

---

## 第90回学長定例記者会見

日時：平成29年8月31日（木）13：30～14：00  
場所：広島大学 霞キャンパス 臨床管理棟3階 大会議室  
※Ustream および YouTube による録画配信を実施

### 【発表事項】

1. 平成29年度科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択されました
2. 中国・長春大学特殊教育学院から聴覚に障害のある研修生を受け入れます
3. 科研費の挑戦的研究（開拓）に本学から4件が採択されました

### 【お知らせ】

1. 第5回広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」の候補者を募集します
2. 広島大学放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム  
産学官人材育成コンソーシアム第3回国際シンポジウム  
～放射線災害復興におけるイノベーションを担う人材育成と社会への貢献～を開催します
3. SPring-8 シンポジウム2017を開催します
4. シンポジウム「ヒト、カブトガニ、干潟」—海はだれのもの？—を開催します

### ■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：9月25日（月）  
場所：東広島キャンパス

平成29年8月31日

平成29年度科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に  
採択されました

【概要】

広島大学は、マツダ株式会社、デルタ工業株式会社、一般財団法人国際開発センターとの共同申請により、文部科学省の平成29年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」（平成29年度～平成34年度）に採択されました。

今後6年間、広島大学は地域の研究・教育拠点としてリーダーシップをとり、上記3機関に加えて、研究教育機関、行政機関、民間企業等と協働で、以下4つの取組を推進します。なお、本事業の補助金額は、年間5000万円程度となっています。

- 1.ダイバーシティ研究環境整備強化
- 2.女性研究者の研究力向上・リーダー育成
- 3.女性研究者の積極採用・上位職登用
- 4.ダイバーシティ研究環境実現モデル開発

本事業の到達目標として、ダイバーシティ研究環境の実現、女性研究者数、女性上位職数の増加を目指します。また、女性研究者の質的向上を図り、国内外の社会経済や環境課題に挑戦する女性研究者を育成することによって、広島大学の新長期ビジョン『SPLENDOR PLAN2017』に掲げる平和で持続可能な社会づくりへの貢献を目指します。

【関連情報】

- ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ/女性研究者研究活動支援事業  
([http://www.jst.go.jp/shincho/josei\\_shien/](http://www.jst.go.jp/shincho/josei_shien/))
- 平成29年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」の選定機関の決定について  
([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/boshu/detail/1388503.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1388503.htm))
- 広島大学お知らせ記事 文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択されました  
(<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/40991>)

【お問い合わせ先】

学術室 研究企画室 久保琢也  
TEL:082-424-4507 FAX:082-424-4592  
Mail:ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp

平成29年8月31日

**中国・長春大学特殊教育学院から  
聴覚に障害のある研修生を受け入れます**

広島大学国際センターでは、平成29年10月4日から11日まで、中国の長春大学特殊教育学院から学生を受け入れ、特別支援プログラムを実施します。来日するのは学生8名と引率教員2名で、学生は聴覚に障害があります。

受入れにあたっては、本学で特別支援教育を担う、大学院教育学研究科特別支援教育学講座・附属特別支援教育実践センターと共同し、身体等に障害のある学生の修学支援を行っているアクセシビリティセンターの協力を得て実施する予定です。

プログラムでは、日本語手話の体験や日本文化体験、本学学生との交流等に加えて、広島市内の特別支援学校や県内企業を訪問予定です。企業訪問では、障がい者が働く現場を視察し、意見交換を行う予定です。

これまで、広島大学国際センターでは、日本語・日本文化に関心を持つ外国の大学生を対象にして、日本への理解を深め、本学への留学のきっかけとなることを目的に、2週間程度の「日本語・日本文化特別研修」を実施し、約1,000名の学生を受け入れてきました。

今回は同じく短期プログラムではありますが、特別支援教育に関するプログラムは初めての実施となります。

**【お問い合わせ先】**

国際室国際部  
国際交流グループ 是國  
TEL:082-424-6045 FAX:082-424-6179

平成29年8月31日

## 科研費の挑戦的研究（開拓）に 本学から4件が採択されました

### 【概要】

文科省の競争的資金の1つである「科学研究費助成事業」（科研費）は、最も規模が大きく、歴史もある個人向け研究資金です。今年度新たに設けられた種目である挑戦的研究（開拓）に、下記のとおり本学から4件が採択されました。

広島大学では、科研費の獲得増に向けたメリハリのある研究活動活性化の支援を行っています。特に、融合分野、新学術といった大型プロジェクト化を推進しているところです。本種目に本学から採択された4件は人文科学、工学、医学・健康科学の各分野にわたり、DP（Distinguished Professor）や女性研究者が研究代表者となっています。

本学は更なる研究活動活性化のため、今後も積極的に研究支援を行うこととしております。

研究課題名	研究代表者 （所属等）	研究分野	総配分額 （千円）
日本の学術体制史研究 ―研究基盤となる日本学術会議資料整備と研究環境構築の検討―	久保田 明子 （原爆放射線医科学研究所 助教）	歴史学、考古学、博物館学及びその関連分野	18,330
ネイチャーテクノロジーを用いた金属・難分解性排水の新規生物学的処理技術の開拓	大橋 晶良 （工学研究科 教授）	土木工学及びその関連分野	26,000
2本鎖DNAを使用せず高度の安全性を保障する遺伝子治療の開発	茶山 一彰 （医歯薬保健学研究科（医） 教授）	内科学一般及びその関連分野	26,000
健康寿命の延伸に向けた若返り研究マウスモデルの開発	神谷 研二 （副学長（併）原爆放射線医科学研究所 特任教授）	健康科学及びその関連分野	25,740

◇広島大学 応募 17件 → 採択 4件 (採択率 23.5%)

◇挑戦的研究の概要（公募要領より）

一人又は複数の研究者で組織する研究計画であって、斬新な発想に基づき、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを志向し、飛躍的に発展する潜在性を有する研究計画を対象。

研究期間：3～6年間

※研究種目の趣旨に沿った研究課題を厳選

※応募額を最大限尊重した配分を実施（充足率は原則100%）

◇応募・採択状況（全国）：応募1,116件→採択94件（採択率8.4%）

【お問い合わせ先】

広島大学社会産学連携室 研究企画室 高度専門職（併）室長 小左古 TEL:082-424-5860 FAX:082-424-4592
--------------------------------------------------------------------------



平成29年8月31日

**第5回広島大学女性活躍促進賞  
「メタセコイア賞」の候補者を募集します**

広島大学は平成25年度に、女性自ら先導し、あるいは女性の活躍の場を広げることによって、社会全体の活力向上に貢献した個人・団体を顕彰するため、広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」を創設しました。

今年度の候補者を下記の要領で募集いたします。自薦・他薦にかかわらず、多くのご応募をお待ちしております。

記

■募集締切

平成29年10月13日（金）※当日消印有効

■授与の基準

- (1) 男女共同参画の推進及び女性の活躍促進において先進的な取組を行っていると思われる中国四国地域の個人又は団体
- (2) 男女共同参画社会の構築において顕著な研究業績を挙げた、又は指導的働きをしたと思われる中国四国地域の研究者
- (3) 女性の活躍を支援したと思われる個人又は団体
- (4) 自ら活力向上を先導した女性

■応募方法

以下の書類を郵送またはメールにて提出してください。

- (1) 応募申請書（ホームページよりダウンロードしてください。）
- (2) 活動内容、代表的な論文、著書、報告書などをまとめたものや成果資料等（形式は自由です。）
  - 自薦・他薦は問いません。
  - 提出された書類等は、原則として返却しません。
  - 後日、参考資料の追加提出をお願いすることがあります。
  - 選考委員会において候補者を選考し、受賞者を決定いたします。
  - 授与式は、受賞年度に開催されるシンポジウム等において行います。

■提出先

広島大学男女共同参画推進室

Mail: [syokuin-sen@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:syokuin-sen@office.hiroshima-u.ac.jp)

TEL: 082-424-4428

ホームページ: <http://metasequoia.hiroshima-u.ac.jp/>

【お問い合わせ先】

広島大学学術室研究企画室 久保琢也

Mail: [ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp)

Tel: 082-424-4507

平成29年度

# 第5回 広島大学女性活躍促進賞 「メタセコイア賞」 募集

広島大学旧東千田キャンパスに、美しい並木として四季に彩りを添えていたメタセコイア。フェニックスと並んで本学のシンボリック存在で、生きた化石として世界的に有名なこの樹木は、あらゆるところから芽吹く旺盛な生命力とまっすぐに育つ若木の成長の早さが特徴です。このようなメタセコイアにちなみ、女性が個性と能力を存分に発揮し、世界中で力強く活躍することを願って、広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」を設立しました。今年度の候補者を以下の要領で募集いたします。

## ■ 募集締切

平成29年10月13日(金) **当日消印有効**

## ■ 授与の基準

1. 男女共同参画の推進及び女性の活躍促進において先進的な取組を行っていると思われる中国四国地域の個人又は団体
2. 男女共同参画社会の構築において顕著な研究業績を挙げた、又は指導的働きをしたと思われる中国四国地域の研究者
3. 女性の活躍を支援したと思われる個人又は団体
4. 自ら活力向上を先導した女性

## ■ 応募方法

以下の書類を郵送またはメールにて提出してください。

- ① 応募申請書(ホームページよりダウンロードしてください。)
- ② 活動内容、代表的な論文、著書、報告書などをまとめたものや成果資料等(形式は自由です。)

- ✓ 自薦・他薦は問いません。
- ✓ 提出された書類等は、原則として返却しません。
- ✓ 後日、参考資料の追加提出をお願いすることがあります。
- ✓ 選考委員会において候補者を選考し、受賞者を決定いたします。
- ✓ 授与式は、受賞年度に開催されるシンポジウム等において行います。

### 【提出先】

〒739-8524

広島県 東広島市 鏡山1-1-2

広島大学 男女共同参画推進室

電話番号: 082-424-4428

メールアドレス: syokuin-sen@office.hiroshima-u.ac.jp

ホームページ: <http://metasequoia.hiroshima-u.ac.jp/>



平成29年8月31日

広島大学放射線災害復興を推進する  
フェニックスリーダー育成プログラム  
産学官人材育成コンソーシアム第3回国際シンポジウム  
～放射線災害復興におけるイノベーションを担う  
人材育成と社会への貢献～を開催します

東京工業大学において、下記のとおり、「広島大学放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム産学官人材育成コンソーシアム第3回国際シンポジウム～放射線災害復興におけるイノベーションを担う人材育成と社会への貢献～」を開催します。

本プログラムは、国内外の国際機関・企業・大学・研究機関・自治体との連携のもとで、放射線災害復興のためにイノベーションを担うことができる人材育成を目的に教育プログラムを展開しています。

本シンポジウムにおいては、プログラム修了生の発表を交え、人材育成の方法やキャリアパスへの繋がりについて情報共有した上で、放射線災害復興のイノベーションを担う人材育成のための産学官連携のあり方について、共同プロジェクト等に焦点を当てて議論し、今後の人材育成の在り方を展望します。

記

【日時】2017年9月1日(金) 9:30～17:00

【場所】東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター東京1F国際会議室  
東京都港区芝浦3-3-6

【お問い合わせ先】

広島大学フェニックスリーダー養成プログラム事務局

TEL: 082-424-2282

FAX: 082-424-6821

E-mail: [phoenix-program@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:phoenix-program@office.hiroshima-u.ac.jp)





平成 23 年度文部科学省「博士課程教育リーディングプログラム」採択



# HIROSHIMA UNIVERSITY

広島大学 放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム  
産学官人材育成コンソーシアム第3回国際シンポジウム

The 3rd International Symposium of the Phoenix Leader Education Program  
Industry-Academia-Government Consortium for Human Resource Development

## 放射線災害復興における イノベーションを担う 人材育成と社会への貢献

PhD Education focused on the development of human resources for innovation  
in reconstruction after radiation disaster and contribution to society

◆日時 平成 29 年 9 月 1 日 (金)  
9:30-17:00

参加費  
無料

同時  
通訳

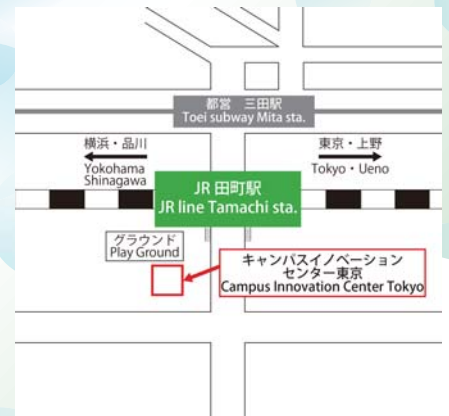
### ACCESS

#### キャンパスイノベーションセンター東京

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

TEL : 03-5440-9020

<http://www.cictokyo.jp/>



### 《お問合せ先》

広島大学

フェニックスリーダー育成プログラム事務局

<http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/>

Email: [phoenix-program@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:phoenix-program@office.hiroshima-u.ac.jp)

TEL: 082-424-2282 Fax: 082-424-6821

《参加申し込みはこちらから》



### CONTACT

放射線災害復興のイノベーションを担う人材を育てる産学官連携のあり方について、共同プロジェクト等に焦点を当て、議論します。

- 9:30 **開催者挨拶**  
宮谷 真人（広島大学理事・副学長（教育・東千田担当））
- 来賓挨拶**  
平野 博紀（文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長）
- 9:45 **フェニックスリーダー育成プログラム紹介**  
神谷 研二（広島大学副学長（復興支援・被ばく医療担当）  
フェニックスリーダー育成プログラム責任者）
- 10:05 **基調講演**  
May Abdel-Wahab（国際原子力機関（IAEA）保健部長）  
有本 建男（政策研究大学院大学教授）
- 10:50 **休憩**
- 11:10 **SESSION 1 技術開発の中での人材育成**  
田中 敬（東芝メディカルシステムズ（株）CT開発部長）  
粟井 和夫（広島大学大学院医歯薬保健学研究科教授）  
大口 裕之（（株）千代田テクノル大洗研究所主席研究員）  
宮崎 真（福島県立医科大学講師・健康増進センター副センター長）  
保高 徹生（産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門主任研究員）  
織内 昇（福島県立医科大学教授・先端臨床研究センター分子治療学部門長）
- 12:30 **休憩**
- 13:30 **特別講演**  
Jacques Lochard（国際放射線防護委員会（ICRP）副委員長）
- 14:00 **SESSION 2 社会的イノベーションと人材育成**  
筒井 雄二（福島大学教授・災害心理研究所長）  
Kai Vetter（カリフォルニア大学バークレー校教授，ローレンス・バークレー国立研究所  
レジリエントコミュニティ研究所長）
- 14:40 **SESSION 3 修了生によるキャリアパス報告**
- 15:00 **休憩**
- 15:20 **SESSION 4 Round Table**  
**「放射線災害復興のイノベーションを担う人材育成」**  
本シンポジウム講演者及び企業等コメンテーター
- 16:50 **閉会挨拶**



平成29年8月31日

SPring-8 シンポジウム2017を開催します  
SPring-8の目指す将来

SPring-8 ユーザー協団体(中川敦史会長、SPRing-8 Users Community: SPRUC)、高輝度光科学研究センター(土肥義治理事長)、理化学研究所(松本紘理事長)、および広島大学(越智光夫学長)は、9月4日(月)と5日(火)の2日間、「SPring-8 シンポジウム2017」を広島大学 東千田キャンパスで開催します。

このシンポジウムは、大型放射光施設SPring-8を利用するさまざまな分野にわたるユーザーの科学技術交流の場として、将来のSPring-8の利用計画について議論するとともに研究成果を発表します。

今回のシンポジウムでは「SPring-8の目指す将来」と題し、持続可能な社会を実現するためにSPring-8が目標にすべき先端性について、基礎科学から産業応用までの幅広い分野の視点からの討論の場とします。

学術界のみならず、産業界の研究者や技術者の参加により、将来のSPring-8の活性化に向けた議論ができることを期待しています。

■名称：SPring-8 シンポジウム2017

■日時：1日目：9月4日(月) 13:00~17:50 (懇親会 18:00~19:30)  
2日目：9月5日(火) 9:00~15:50

■場所：広島大学 東千田キャンパス

〒730-0053 広島県中区東千田町1丁目1番89号

[https://www.hiroshima-u.ac.jp/centers/education\\_facilities/miraisousei](https://www.hiroshima-u.ac.jp/centers/education_facilities/miraisousei)

■プログラム：下記URLを参照下さい。

<http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2017/sp8sympo2017/>

■主催：SPring-8 ユーザー協団体 (SPRUC)、公益財団法人高輝度光科学研究センター、国立研究開発法人理化学研究所 放射光科学総合研究センター、国立大学法人広島大学

■協賛：日本放射光学会、SPring-8 利用推進協議会、各SPring-8専用施設設置機関、日本結晶学会、日本化学会、応用物理学会、化学工学会、軽金属学会、高分子学会、日本鉄鋼協会、日本金属学会、日本結晶成長学会、日本鉱物科学会、日本材料学会、日本表面科学会、日本物理学会、日本分析機器工業会、日本薬学会、粉体工学会、日本表面科学会、日本物理学会、日本分析機器工業会、日本薬学会、粉体工学会、セメント協会、日本セラミックス協会、日本分析化学会、粉体粉末冶金協会、日本ゾル-ゲル学会、触媒学会、石油学会、電気化学会、日本原子力学会、日本顕微鏡学会、日本中性子科学会、日本生物物理学会、日本蛋白質科学会、日本高圧力学会

■申込方法：8月28日(月)までにシンポジウムホームページからお申し込み下さい。

<http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2017/sp8sympo2017/>

申込状況により締切日が変動する場合があります。最新状況は上記ホームページでご確認ください。

- 参加費：OSPRUC 会員・主催団体・協賛学協会会員  
通常料金 2,500 円（当日現金で参加費支払の場合）
- 学生 無料
- 上記以外の一般参加者  
通常料金 2,500 円（支払方法に関係なく一律料金）  
＜9月4日（月）の懇親会参加費＞
- 通常料金 4,000 円（当日現金で参加費支払の場合）

■定員：300 名（先着順）

■報道関係者の方々へ：

- ①取材ご希望の方は、8月28日（月）正午までに必要事項（貴社名、ご芳名、取材日時、電話番号、E-mail アドレス）を下記の【シンポジウム報道担当】までご連絡下さい。
- ②研究に関する発表のスライド等の写真を掲載する場合は、掲載について講演者に許可（確認）をとっていただく必要があります。

【実行委員会広報担当】

国立大学法人広島大学大学院理学研究科 教授 木村昭夫

TEL：082-424-7400 E-mail：[akiok@hiroshima-u.ac.jp](mailto:akiok@hiroshima-u.ac.jp)

# SPring-8 シンポジウム 2017

～ SPring-8 の目指す将来 ～

平成 29 年

9 月 4 日 月・5 日 火

広島大学 東千田キャンパス

東千田未来創生センター M401-402 講義室、他

〒730-0053 広島市中区東千田町 1 丁目 1 番 89 号

9 月 4 日 (月)

施設報告

SPring-8-II に向けて

パネルディスカッション

9 月 5 日 (火)

SPRUC 総会 [YSA 受賞講演・授賞式]

新分野創成利用等

ポスターセッション

利用トピックス I & II

参加申込

事前登録制：締切 8 月 28 日 (月)

早期割引締切 8 月 4 日 (金)

参加費：シンポジウム / 通常 2,500 円

早期<sup>\*1</sup> 2,000 円 (学生無料)

懇親会<sup>\*2</sup> / 通常 4,000 円

早期<sup>\*1</sup> 3,500 円

※1 早期割引には、適用条件があります。詳細およびお申し込みはウェブサイトをご覧ください。

※2 懇親会 日時：9 月 4 日 (月) 18:00 ~ 19:30 場所：BIBLA Senda

QR コードが読めない場合は、下記 URL よりアクセスしてください。

[WEB] <http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2017/sp8sympo2017>

お問い合わせ

SPring-8 シンポジウム 2017 事務局 e-mail: [sp8sympo2017@spring8.or.jp](mailto:sp8sympo2017@spring8.or.jp)



アクセス

JR 広島駅から

■広島バス (所用時間約 12 分)

アルパーク方面行き 50 号 (東西) 線「日赤前」下車 徒歩約 2 分

■広島電鉄 (所用時間約 30 分)

紙屋町經由広島港行き 1 号線「日赤病院前」下車 徒歩約 3 分

詳細はウェブサイトをご覧ください。

主催 SPRing-8 ユーザー協団体 (SPRUC)、

(公財)高輝度光科学研究センター、  
理化学研究所 放射光科学総合研究センター、  
広島大学 (創発的物性物理研究拠点)

協賛 日本放射光学会、SPring-8 利用推進協議会、各 SPRing-8 専用施設設置機関、

(一社)日本結晶学会、(公社)日本化学会、(公社)応用物理学会、(公社)化学工学会、  
(一社)軽金属学会、(公社)高分子学会、(一社)日本鉄鋼協会、(公社)日本金属学会、  
日本結晶成長学会、日本鉱物科学会、(公社)日本材料学会、(公社)日本表面科学会、  
(一社)日本物理学会、(一社)日本分析機器工業会、(公社)日本薬学会、粉体工学会、  
(一社)セメント協会、(公社)日本セラミックス協会、(公社)日本分析化学会、

(一社)粉体粉末冶金協会、日本ソル-ゲル学会、(一社)触媒学会、(公社)石油学会、

(公社)電気化学会、(一社)日本原子力学会、(公社)日本顕微鏡学会、日本中性子科学会、

(一社)日本生物物理学会、(一社)日本蛋白質科学会、日本高圧力学会



JASRI

SPring-8



広島大学



創発的  
物性物理  
研究拠点



# PROGRAM

DAY1 9月4日(月)

## Session I オープニング

- 13:00~13:05 開会挨拶  
中川 敦史 / SPRUC 会長、大阪大学 教授
- 13:05~13:25 挨拶  
小安 重夫 / 理化学研究所 理事  
土肥 義治 / 高輝度光科学研究センター 理事長  
越智 光夫 / 広島大学 学長
- 13:25~13:30 来賓挨拶  
西山 崇志 / 文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課 量子研究推進室 室長

## Session II 施設報告

- 13:30~14:00 SPring-8 サイトの現状と将来  
石川 哲也 / 理化学研究所
- 14:00~14:30 共用ビームラインの現状と方向性  
櫻井 吉晴 / 高輝度光科学研究センター
- 14:30~14:45 休憩 (コーヒープレイク)

## Session III SPring-8-II に向けて

- 14:45~15:10 SPring-8-II に向けた加速器システム開発  
- 日本の光源ポートフォリオにおける硬 X 線先端光源に相応しい性能の実現 -  
田中 均 / 理化学研究所
- 15:10~15:35 SACLA の利用研究の歩み  
登野 健介 / 高輝度光科学研究センター
- 15:35~16:00 海外施設の動向と国際戦略  
矢橋 牧名 / 高輝度光科学研究センター
- 16:00~16:15 休憩

## Session IV パネルディスカッション

- 16:15~17:45 モデレータ 中川 敦史 / 大阪大学
- 18:00~19:30 懇親会 @1F BIBLA Senda

DAY2 9月5日(火)

## Session V SPRUC 総会・YSA 受賞講演、授賞式

- 09:00~09:20 SPRUC 活動報告、2016年度決算・2017年度予算報告等
- 09:20~09:30 SPRUC 2017 Young Scientist Award 授賞式
- 09:30~09:45 SPRUC 2017 Young Scientist Award 受賞講演1  
X線磁気円二色性分光による電圧制御型スピントロニクスデバイスの研究  
三輪 真嗣 / 大阪大学大学院
- 09:45~10:00 SPRUC 2017 Young Scientist Award 受賞講演2  
放射光X線で探る地球深部：地球の核組成の制約に向けて  
坂巻 竜也 / 東北大学大学院

## Session VI 分野融合研究

- 10:00~10:30 SPRUC ナノデバイス科学グループに関する目標と進捗状況  
小野 輝男 / 京都大学
- 10:30~10:50 分野融合研究・実用グループの活動目標と進捗  
高尾 正敏 / 元パナソニック

## Session VII ポスターセッション @1F ラウンジ、4F コミュニケーションスペース

- 11:00~13:30 SPRUC研究会30件、共用BL14件、理研・専用BL22件、施設2件  
(コアタイム 奇数11:15-12:15, 偶数12:15-13:15) パートナーユーザー8件、長期利用課題19件、新分野創成利用2件 合計 97件

## Session VIII 利用トピックス I

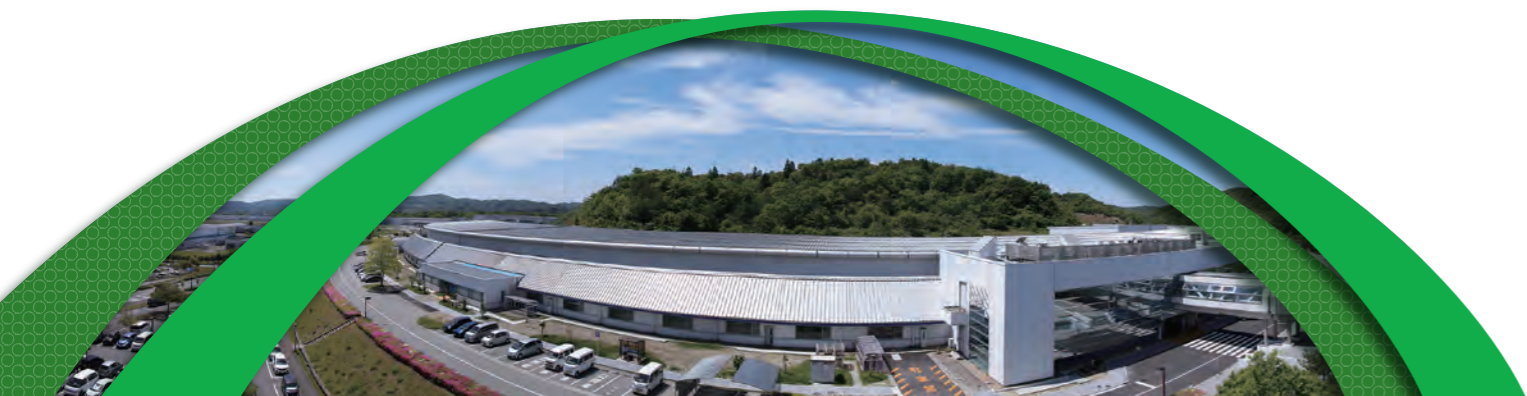
- 13:30~14:00 先端エネルギー材料研究と放射光  
市川 貴之 / 広島大学
- 14:00~14:20 次世代シリコンナノエレクトロニクスのためのマイクロ回折法による局所ひずみ構造の分析  
中塚 理 / 名古屋大学
- 14:20~14:40 次世代エンジン開発における X 線噴霧計測技法の活用と課題  
文 石洙 / 産業技術総合研究所
- 14:40~14:50 休憩 (コーヒープレイク)

## Session IX 利用トピックス II

- 14:50~15:10 高エネルギー X 線全散乱による非晶質材料の動的構造変化計測の実現へ  
尾原 幸治 / 高輝度光科学研究センター
- 15:10~15:30 マイクロX線ビームを使った硫化水素の高温超伝導相の結晶構造解析  
清水 克哉 / 大阪大学
- 15:30~15:50 超高分解能X線構造解析によるタンパク質価電子の可視化  
竹田 一旗 / 京都大学

## Session X クロージング

- 15:50 閉会挨拶  
島田 賢也 / 広島大学 放射光科学研究センター センター長





平成29年8月31日

シンポジウム「ヒト、カブトガニ、干潟」  
—海はだれのもの?— を開催します

日本には生きた化石カブトガニの生息する素晴らしい干潟がまだ残っています。カブトガニの生息する干潟とはどんな役割があるのか？日本や世界の干潟はどのような現状なのか？

カブトガニは今、人間の保護を必要としています。次世代にこの宝を残すために、まずは彼らのおかれている現状、問題点、保全策について考えてみましょう。

開催日：9月24日（日）

時間：12：50～17：00

場所：北九州市立自然史・歴史博物館(いのちのたび博物館)ガイド館  
(福岡県北九州市八幡東区東田 2-4-1)

定員：300名（当日先着順）

対象：どなたでも（小学生以下は保護者の参加が必要）

料金等：無料

プログラム概要：

第1部 日本の干潟、世界の干潟

第2部 福岡、山口、広島のカブトガニの生息状況

総合討論

主催：広島大学大学院生物圏科学研究科

共催：北九州市立自然・歴史博物館、広島大学総合博物館

後援：日本分類学会連合、海の生き物を守る会、  
日本カブトガニを守る会福岡支部

【お問い合わせ先】

広島大学大学院生物圏科学研究科  
附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター 教授  
大塚 攻  
TEL:0846-22-2362  
E-Mail:ohsuka@hiroshima-u.ac.jp

シンポジウム

# ヒト, カブトガニ, 干潟

—海はだれのもの?—



日時

9月24日 日 12:50~17:00

場所

北九州市立自然史・歴史博物館(いのちのたび博物館)1階ガイド館  
福岡県北九州市八幡東区東田2-4-1

参加費

**無料**(但し博物館展示室への入場や駐車場利用は有料となります)

主催/広島大学大学院生物圏科学研究科

共催/北九州市立自然史・歴史博物館、広島大学総合博物館

後援/日本分類学会連合、海の生き物を守る会、日本カブトガニを守る会福岡支部



## ヒト、カブトガニ、干潟 —海はだれのもの？

日本には生きた化石カブトガニの生息する素晴らしい干潟がまだ残っています。カブトガニの生息する干潟とはどんな役割があるのか？日本や世界の干潟はどのような現状なのか？

カブトガニは今、人間の保護を必要としています。次世代にこの宝を残すために、まずは彼らのおかれている現状、問題点、保全策について考えてみましょう。

開会の言葉 上田 恭一郎(北九州市立自然史・歴史博物館館長)

12:50-13:00

### 第1部(日本の干潟、世界の干潟)

司会 大塚 攻(広島大学)

13:00-13:40 未定(環境省)「環境省の取り組み(仮題)」

13:40-14:20 向井 宏(元北海道大学)「日本と世界の干潟の保全」

14:20-14:30 休憩



作画:米谷まり  
「かぶめちゃん・かぶあきくん」

### 第2部(福岡、山口、広島のカブトガニの生息状況)

司会 武石全慈(北九州市立自然史・歴史博物館)

14:30-14:50 清野聡子(九州大学)

「日本のカブトガニの生息地の参加型保全・再生と環境政策の展開」

14:50-15:10 和田年史(兵庫県立大学)

「カブトガニ津屋崎個体群の絶滅危機の現状とそれまでの過程」

15:10-15:30 林 修(日本カブトガニを守る会)「曾根干潟のカブトガニの現状」

15:30-15:35 休憩

15:35-15:55 原田直宏(日本カブトガニを守る会)「山口のカブトガニ」

15:55-16:15 小池 裕子(九州大学総合研究博物館)、西田 伸(宮崎大学教育学部)

「干潟食物連鎖の中でのカブトガニの特徴」

16:15-16:35 大塚 攻(広島大学)「カブトガニ保全の問題点を探る」

### 総合討論

司会 清水則雄(広島大学)

16:35-17:00 全講演者

### 問い合わせ先

○シンポジウムの内容に関すること  
広島大学 大塚 攻  
e-mail ohtsuka@hiroshima-u.ac.jp  
tel 0846-22-2362

○会場に関すること  
北九州市立自然史・歴史博物館 武石全慈  
e-mail takeishi@kmnh.jp  
tel 093-681-1011

